

港区立芝浦小学校
令和3年度 授業改善推進プラン

1 区学力調査の結果を踏まえた課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね平均を上回っているが、「我が国の言語文化に関する事項」「読むこと」に課題が見られる学年が多い。 ・「書く能力」では、個人によって大きく差が見られる。型にはめて書くことができる児童は多いが、自分の考えが明確になるように書くことが難しい児童が各学年一定の割合でいる。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・実施した4～6年どの学年も、全ての観点において、区学力テストの全国平均正答率を上回っている。 ・さらに、どの学年も、全ての観点において、区平均正答率を上回っている。 ・領域別で見たときに、唯一、6年の「産業と情報の関わり」が、全国平均正答率を下回っている。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能の観点では、区の学力テストの結果や東京ベーシック・ドリルの結果から、概ね学習内容が定着できていると言えるが、個人差がある。 ・論理的に説明する力が不足していることから、思考力・判断力を問う問題の定着が低い。 ・領域別にみると、平均は上回っているものの、図形の領域や、測定の領域に課題がみられる学年がある。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・合計点では、全国平均正答率より上回っているが、下回っている内容が半数近くとなっている学年があった。 ・他教科と比較して、知識・技能を問う問題の定着が低く、全国平均とほぼ変わらない。 ・思考力・判断力・表現力及び主体的に学習に取り組む態度が区平均よりもほとんど上回っているが、個人によって基本的な知識・技能の定着から、大きく差が見られると考えられる。

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科の基礎的・基本的な知識を身に付けて言語感覚を豊かにし、実際の言語活動に生かすことのできる資質・能力を向上させる。 ・想像を広げながら物語を読んだり、筆者が伝えたいことを的確に読取りながら説明文を読んだりする能力を高める。 ・国語の各単元で、書くことの活動を充実させ、自分の考えを書く能力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「我が国の言語文化に関する事項」について、漢字の読み書きや語彙力を高めるために家庭学習も取り入れながら基礎的・基本的な力を定着させる。 ・「読む」単元では、読み取るための課題を明示するなどして授業のねらいを把握させ、自分の考えをもたせるとともに、自分の考えを深めたり、広げたりするための対話的な学習を意図的に導入する。また、読書活動により本に親しませ、読解力を高めていく。 ・「書く」単元では、型を提示し、C 評価の児童も書くことの達成感を味わい、積極的に書くことに取り組めるようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会的な見方・考え方」を働かせ、課題を追及したり、解決したりする資質・能力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学年では、体験や知識と資料・情報を結び付け、分かったこと、気付いたこと、考えたことをノートにまとめ、交流する活動を行う。 ・高学年では、文章、写真、地図、年表など様々な資料に触れる時間を設け、各単元の中心となる概念的知識が記述できるよう表現力を高める。 ・一人一台のタブレットを有効活用し、主体的に調べる活動時間を確保する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的に考え、説明したり、判断や考えの正しさを説明したりする能力を向上させる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質や長さ、かさなどの単位と測定を理解させるために、低学年では身の回りのものを観察したり、具体物を操作したりする活動を取り入れながら視覚的に理解させる。 ・思考力、判断力を育むために、問題提示を工夫したり、集団検討を取り入れたりして様々な考えにふれられるようにする。 ・授業のまとめとして、学習感想を書く際には、身に付けた能力をどのような場面で生かせるか、さらに学習を深めたいことは何かなど視点を提示して書かせる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に親しみ、見通しをもって問題解決の活動を通して、より妥当な考えをつくりだすなどの、問題を科学的に解決する力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動植物との関わりや体験活動を ICT を活用して補っていく。 ・観察・実験の方法や器具・機器の使い方を目的に応じて扱うことができるようにする。 ・理科の見方・考え方を働かせ、見いだした問題に対して、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、観察、実験などの結果を整理し結論を導き出すといった、問題解決の活動を丁寧に行っていく。 ・大規模校であることを生かし、SA(サイエンス・アシスタント)や学年で指導法や必要な情報を共有していく。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・友達との関わりから情報を共有して、自分なりに考えながら進めていこうとする力を養う。 ・自然の事象について知ったり、扱い方に関する技能を身に付けたりしようとする力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校では、『きょうだいさん活動』として1年生と2年生の1人对1人の組み合わせを設定している。この『きょうだいさん』を活用して、発表するときに具体的に発表する対象を意識できるようにしている。 ・植木鉢による栽培活動、飼育かごによる虫などの飼育活動にも積極的に取り組み、日々世話をすることで生き物への愛情を育む。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。 ・音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。 ・音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的で深い学びの実現に向けて、音楽的な見方・考え方を働かせた学習過程の工夫をする。具体的に学習の見通しと振り返りを工夫し、変容を自覚できる場面を設定する。また、実感を伴った学習活動の工夫を多く取り入れる。 ・対話的で深い学びの実現に向けて、他者との交流を通し、自分の考え方や感じ方を広げる学習活動を工夫する。その際、音楽科の特質に応じた言語活動を取り入れる。音や音楽で試したり合わせたり、聴き取り感じ取ったことを聴いて確かめたりするなど、音楽活動との関連を図る。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的なよさや美しさについて考え、発想・構想する。 ・つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造する態度と豊かな情操を培う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材のねらいを明確にし、身近なテーマや題材を基に単元を設定し主体的に作品に取り組めるようにする。 ・活動の過程で、児童一人一人が発揮している資質・能力を、机間指導・見取りメモ・鑑賞カードなどを活用して丁寧に見取り、承認・評価する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や家庭、衣食住、消費生活や環境などについて、日常生活に必要な知識・技術を身に付け、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を培う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣食住や家族の生活などの家庭生活に関する内容を、調理、製作等の実習や観察、調査、実験などの実践的・体験的な活動を通して、実感を伴って理解する学習を展開する。実生活と関連を図った問題解決的な学習を効果的に取り入れていく。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・運動や健康に関する自己の課題を見付け、主体的・対話的で深い学びを通して、進んで解決できる力を培う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット等も活用し、自己の現状を正しく把握することから、児童の課題設定につなげていく。 ・課題解決できるようにするために、毎時間ねらいと振り返りを行っていく。 ・学習カードを活用することで、自己評価と教師からの評価を明確にしていく。 ・模範となる児童を全体の場で称賛したり、紹介したりすることで、児童同士で教え合い、学び合っていけるようにしていく。

国際	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・国際科の授業を通し、世界の言語や文化に興味をもち、かかわろうとする姿勢を育む。 ・英語の語感を養い、学んだ文や言葉を表現する力を育む 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌やチャンツ、フォニックスを取り入れ、英語の音とリズムを体にインプットさせる。 ・NTと連携しながら、授業の中で外国の文化や習慣を児童に伝えてもらうスモールトークを定期的に行う。 ・英語のスキーマを出来るだけ多く獲得できるように、語彙を提示する時に関連した単語も紹介していく。

道徳	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導観を明確にし、発問を精選することで児童から多様な考えを引き出す。また構造的な板書を意識して、学習を終えた後に児童が振り返られるようにすることで実践意欲を高めていく。 ・展開後段では自己を見つめる時間をしっかりと、自分の経験やその時の感じ方、考え方と照らし合わせながら、更に考えを深めていけるようにする。

特別活動	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中で課題発見、実践、振り返りなどの活動を通して、望ましい人間関係の形成を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポートを計画的に活用し、各行事や学級活動の振り返りを行い、次への活動に意欲をもたせていく。 自分の良いところや頑張ってきたことに気付き、自分の成長を感じ取れるようにする。 ・学級会コーナー等を設置し、児童が見通しをもって計画、運営ができるようにしていく。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な見方・考え方を働かせて、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習過程を探究的にすること【1課題の設定2情報の収集3整理・分析4まとめ・表現】の探究の過程を経由する学習方法を指導する。 ・横断的・総合的な学習を行う学習の対象や領域が、特定の教科等に留まることなく、各教科等で身に付けた資質・能力を活用・発揮しながら解決に取り組ませる。